

2025 年度 自己評価公表

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 こうのとり保育園

法人理念

～キリスト教精神による隣人愛～

こうのとり保育園 教育・保育理念

キリスト教の精神を基本理念とし、児童福祉法・児童憲章にのっとり、健康で安全・安心な乳幼児の教育・保育を目指します。

- *愛されて、愛する心を知り、お互いが大切な存在であることを知る。
- *一人ひとりの違いに気づき、お互いを認め合いながら共に主体的に生活する。
- *自己発揮できる感興の中で創造性を育てる。
- *在園・地域の子育て家庭が心豊かな環境で子育てできるように支援する。

こうのとり保育園では、「保育者のための自己評価チェックリスト～保育者の専門性の向上と園内研修の充実のために～」を使い、職員が自己評価を行いました。自己評価の結果から見えてきた、園としての課題を職員間で共有し、教育・保育の質の向上のため次年度の取り組みにつなげていきたいと思えます。

	自己評価結果・課題
第1章 総則 教育・保育の基本 1. 教育・保育の基本 2. 教育及び保育の配慮 3. 教育課程・全体的な計画 (ア) 指導計画作成と評価 4. 特別支援教育・障害児保育 5. 「育みたい3つの資質・能力」と 「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」 6. 子どもの発達	保育に関する法令の理解や説明では、言語化して伝えることに難しさを感じている職員もいるため、言語化できる機会を多くもちたい。幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿や、小学校への接続を意識しながら保育を行ってきた。園内研修でも発達の連続性を捉え、子どもたちは今遊びを通して、どんなことを学んでいるのか、どのような力が育とうとしているのか等、より深く子どもの姿を丁寧に見取ることを意識している。保護者にも懇談会や日々のドキュメンテーション等で伝えることが出来るようになってきた。
第2章 「ねらい」及び「内容」 1. 乳児保育に関するねらい及び内容 2. 1歳以上3歳未満児の保育に関するねらい及び内容 3. 保育の実施に関わる配慮事項 (乳児・1歳以上3歳未満) 4. 3歳以上児の保育に関わるねらい 及び内容	学びの連続性を展開していくために、各歳児の発達の連続性を理解するだけでなく、今必要な遊びを継続して仕掛けていくことが大切だということに気づき、環境設定や玩具を見直していった。職員間で話し合いを重ね、環境を設定したことにより、特に幼児クラスでは遊びを継続して楽しんでいる姿が増えた。また課題で見えてきた表現、特に音楽に関する部分では苦手な職員もいるため、楽しみながら学ぶ機会を増やしていきたい。
第5章 職員の資質向上	専門性を高めるために、常に自分たち自身の学びを深めていくことが大切である。今年度もキャリアアップ研修にはそれぞれの職員が参加することが出来た。その学びを共有し、次に繋げていく部分は課題が残るため、各部会や会議等、学びの時を持ち、同じ温度感で保育にあたっていきたい。感染症や事故・災害時の対応と安全確保について対応と連携を職員周知し、強化するために学習会の中で取り入れ、取り組んできた。一人ひとりが動ける人になれるよう学び続けていく。

全体として

子どもの生きる力の根を育てる役割を担う私達は、今、目の前にいる子どもたちから学び、それを職員間で共有し保育を行って来た。その中でも職員それぞれの得意、不得意な部分はあるため、互いに補える点が自己評価の中で見えてきた。保育の質を向上させるため、常に学び続け、学んだことを共有し、このとり保育園の保育を創り上げていきたい。